

# 阿部県政5年

## 報告書

(2015年8月21日～23日調査)

I	調査の設計	1
II	調査のポイント	3
III	調査の概要	4



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# I 調査の設計

## ◆調査の目的

阿部守一県知事が昨年8月再選を果たして1年、通算では9月1日で県政5年を迎える。2010年の就任以来、当協会の調査で一貫して高い支持率を維持しているが、2期目は県民にどう映っているのか。

「長野県総合5か年計画」（しあわせ信州創造プラン）がスタートして2年半、今年度は国の地方創生策に基づき、人口減少対策を盛る県版「総合戦略」も策定する。

国と県の補助金不正受給が明るみに出た大北森林組合への対応を含め県政の課題を、阿部県政5年を機に県民に聞いた。

## ◆調査の設計

▽調査対象	県内に住む20歳以上の男女800人
▽抽出方法	県内を東北中南の4地区に分け、さらに20代～70歳以上の6つの年代層・性に分割し“県下の有権者の縮図”となるように人数を比例配分して、各市・各郡の対象者数を設定。
▽調査方法	個別電話聞き取り・RDD（ランダム・デジット・ダイヤリング）法で実施。コンピューターで無作為に発生させてかける電話調査法で、電話帳に番号を載せていない人も調査できる。無作為に発生させた番号のうち、設定した年代・性の人を選び、目標の800人に達するまで抽出して聞き取りを行った。
▽調査地点	19市9町6村
▽調査時期	2015年8月21日～23日
▽有効回答	812人（男性 363人 女性 449人）

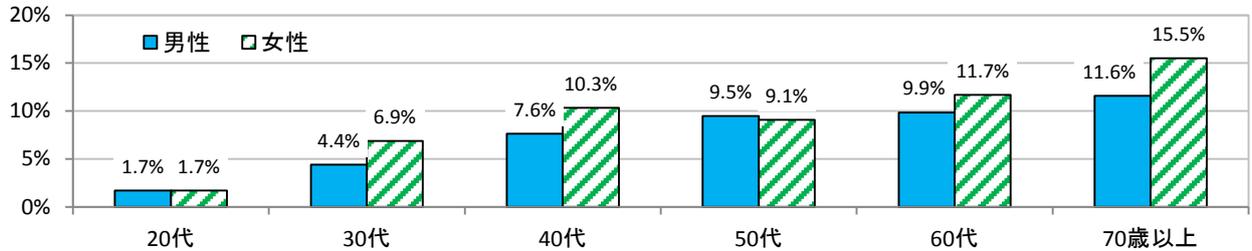
<注>

- ①報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。
- ②文中のパーセント数字は原則として小数点以下を四捨五入したが、全体を計算するにあたって必要な場合は小数点第1位まで表記した。

## ◆サンプルの内訳

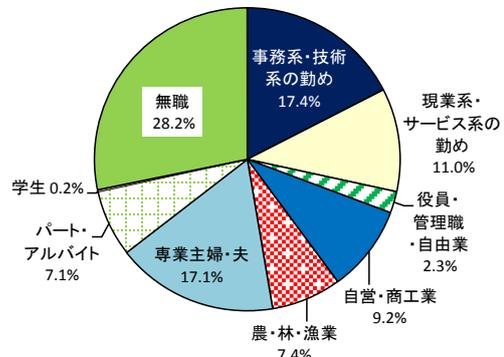
### 【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	812	28	92	146	151	175	220
	100.0%	3.4%	11.3%	18.0%	18.6%	21.6%	27.1%
男性	363	14	36	62	77	80	94
	44.7%	1.7%	4.4%	7.6%	9.5%	9.9%	11.6%
女性	449	14	56	84	74	95	126
	55.3%	1.7%	6.9%	10.3%	9.1%	11.7%	15.5%



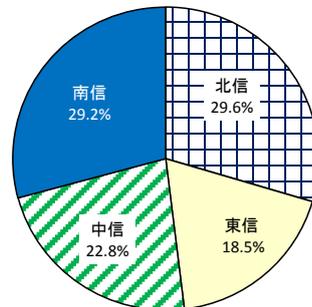
### 【職業】

事務系・技術系の勤め	141	17.4%
現業系・サービス系の勤め	89	11.0%
役員・管理職・自由業	19	2.3%
自営・商工業	75	9.2%
農・林・漁業	60	7.4%
専業主婦・夫	139	17.1%
パート・アルバイト	58	7.1%
学生	2	0.2%
無職	229	28.2%



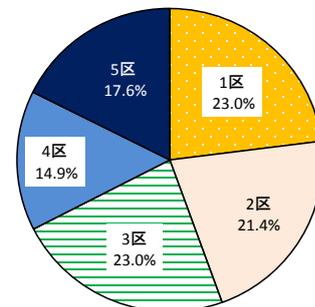
### 【地域】

北信	240	29.6%
東信	150	18.5%
中信	185	22.8%
南信	237	29.2%



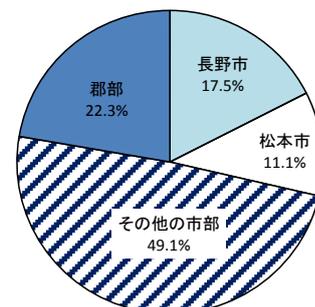
### 【選挙区】

1区	187	23.0%
2区	174	21.4%
3区	187	23.0%
4区	121	14.9%
5区	143	17.6%



### 【市郡】

長野市	142	17.5%
松本市	90	11.1%
その他の市部	399	49.1%
郡部	181	22.3%

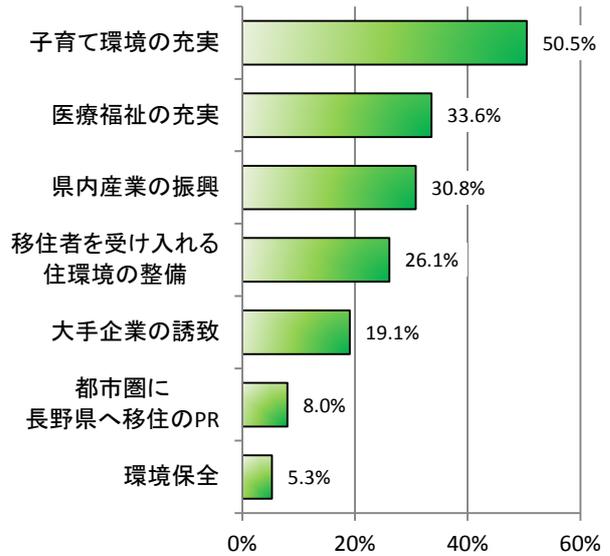


## II 調査のポイント

### ◆「子育て支援」が喫緊の課題

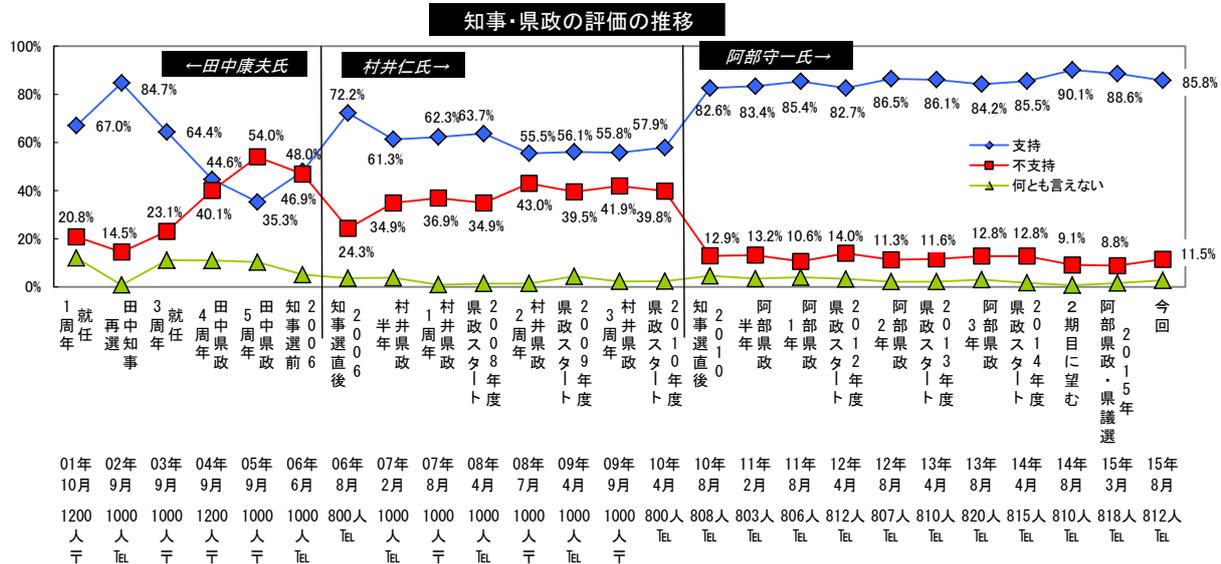
今回の「阿部県政5年」調査では、県が策定中の人口減少対策のための総合戦略で重要だと思える施策と、現在力を入れてほしい政策を尋ねた。両方の質問でトップに挙げたのは子育て環境に対する充実・支援であり、県民の半数が要望している。次いで「医療・福祉」であり「産業振興」だった。地方再生に県民が求める優先施策である。

### ◆人口減少対策



### ◆阿部知事の支持率 85.8%

就任5年を迎える阿部知事の支持率は「支持する」40.1%、「どちらかといえば支持する」45.7%を合わせ85.8%で、80%以上を維持している。昨年8月の再選直後（「阿部知事2期目に望む」）と春の調査（「2015年度阿部県政・県議選」）からは微減だが、男女、年代、職業、地域、支持政党を問わず高い支持を受けていることに変わりはない。



<注>田中県政当時は「なんともいえない」を郵送調査(〒)のみ選択肢として明示

	01年10月	02年9月	03年9月	04年9月	05年9月	06年6月	06年8月	07年2月	07年8月	08年4月	08年7月	09年4月	09年9月	10年4月	10年8月	11年2月	11年8月	12年4月	12年8月	13年4月	13年8月	14年4月	14年8月	15年3月	15年8月	今回
支持する	36.6%	50.5%	29.7%	15.1%	11.6%	14.1%	35.9%	20.6%	19.6%	22.4%	17.8%	15.9%	16.0%	26.1%	40.5%	39.7%	35.5%	27.5%	32.2%	35.7%	41.0%	37.8%	43.8%	46.8%	40.1%	
どちらかといえば支持する	30.4%	34.2%	34.7%	29.5%	23.7%	33.9%	36.3%	40.7%	42.7%	41.3%	37.7%	40.2%	39.8%	31.8%	42.1%	43.7%	49.9%	55.2%	54.3%	50.4%	43.2%	47.7%	46.3%	41.8%	45.7%	
どちらかといえば支持しない	10.1%	8.0%	11.4%	17.5%	18.0%	25.9%	14.0%	24.6%	24.9%	24.6%	30.7%	28.7%	28.7%	21.3%	8.4%	9.3%	7.9%	10.6%	8.2%	9.1%	8.9%	9.0%	6.4%	6.5%	7.9%	
支持しない	10.7%	6.5%	11.7%	22.6%	36.0%	21.0%	10.3%	10.3%	12.0%	10.3%	12.3%	10.8%	13.2%	18.5%	4.5%	3.9%	2.7%	3.4%	3.1%	2.5%	3.9%	3.8%	2.7%	2.3%	3.6%	
なんともいえない・わからない	12.0%	0.8%	11.1%	11.0%	10.3%	5.1%	3.6%	3.8%	0.9%	1.4%	1.4%	4.4%	2.3%	2.4%	4.6%	3.4%	4.0%	3.3%	2.2%	2.3%	3.0%	1.7%	0.7%	2.6%	2.7%	
不明	0.2%	-	1.3%	4.3%	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

### Ⅲ 調査の概要

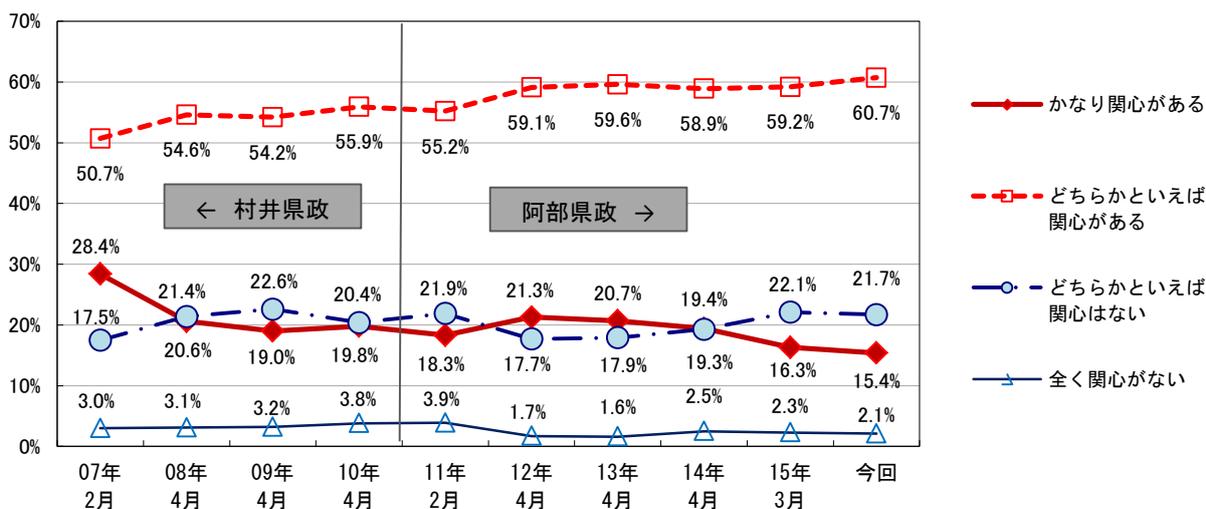
#### 県政への関心

(問1)

#### ◆「関心がある」 前回と同じ76%

長野県政への関心は「かなりある」15.4%、「どちらかといえばある」60.7%を合わせ「ある」が、春の調査（「2015年度阿部県政・県議選」＝以下同じ）とほぼ同じ76.1%。特に60代以上は8割を超える。ただ「かなりある」は、グラフで分かるように微減傾向が続いている。

関心が「ない」のは若い年代ほど高く、20代は半数、30代も4割を超えている。



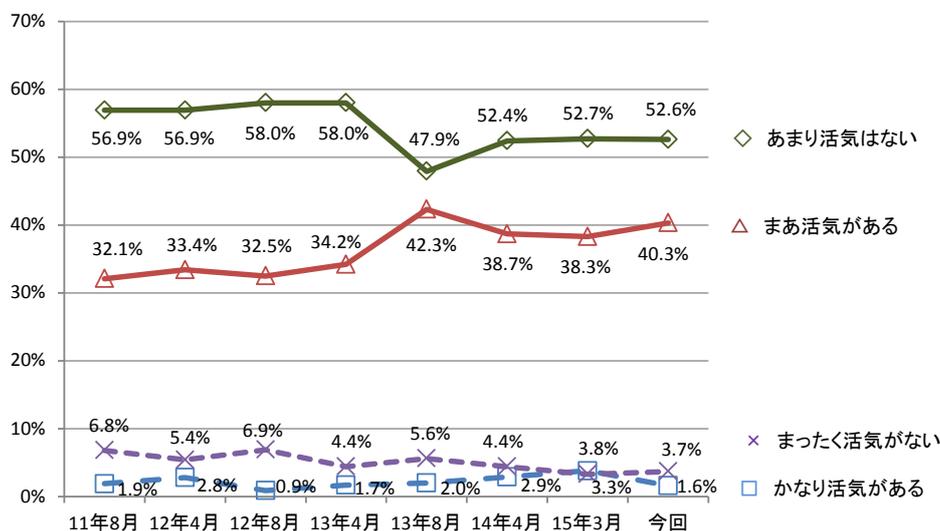
#### 長野県経済や暮らし向きの現状

(問2)

#### ◆「活気がない」 いぜん過半数

長野県の経済や県民の暮らし向きの現状について「活気がある」が全体で42%、「活気がない」56%と、春の調査と変化がない。「県内企業の景況感のはっきり改善」（日銀松本支店の6月短観）との報告もあるが、県民の受け止めはあまり変わっていないようだ。

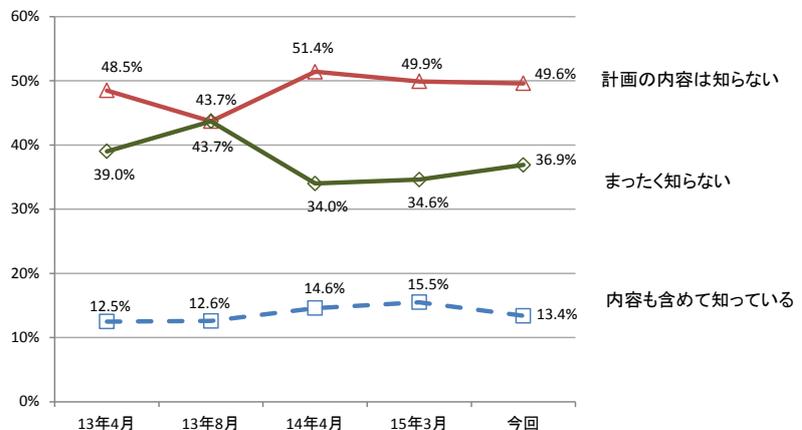
「活気はない」は自営・商工業者（72%）、役員・管理職・自由業（69%）が高く、経営者層が厳しい見方をしている。また北信（60%）が他の3地域より停滞感がある。



◆県総合5か年計画、内容の理解は浸透せず

知事が「確かな暮らしが営まれる美しい信州」を目標に「長野県総合5か年計画」(しあわせ信州創造プラン)をスタートさせてほぼ2年半、この計画について継続して尋ねてきた。昨年4月調査からほとんど数字は動かず、「内容も含めて知っている」は10%台にとどまる。

「まったく知らない」が30代(58%)、20代(54%)と若い年代に浸透していないのも同じ結果だ。

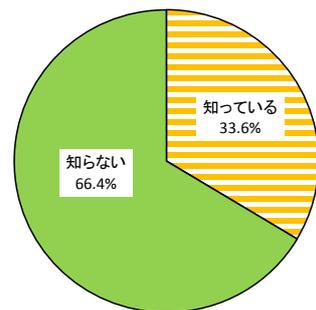


◆人口減少対策の「総合戦略」策定、「知らない」が66%

県が今年度、人口減少対策のための「総合戦略」を策定することを「知っている」34%に対し、「知らない」が66%に上る。農・林・漁業は半数が「知っている」ものの、女性、20代~40代、勤めている人は3割に満たない。

地域別では中信と南信の「知らない」が7割超と、東信・北信より9ポイント以上高い。

◆新たな総合戦略の策定



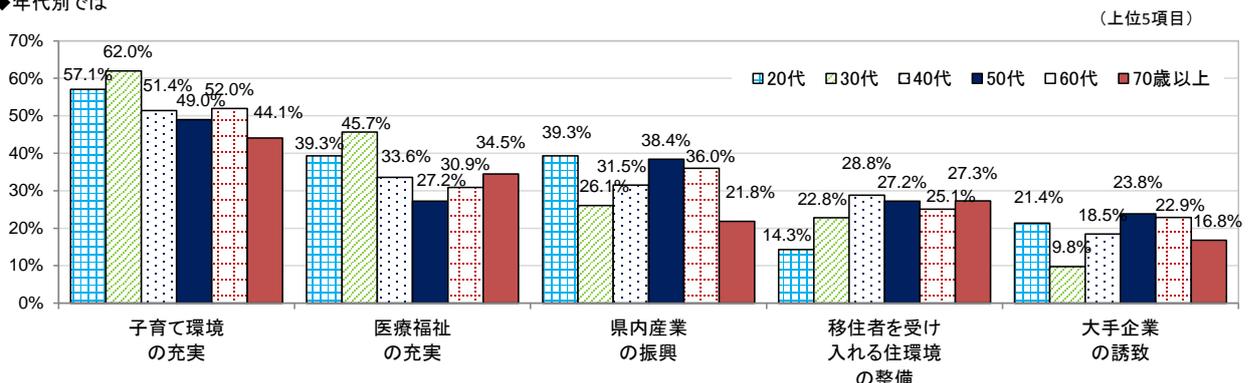
◆人口減少対策、「子育て環境」「医療福祉」「産業振興」が重要

次に人口減少対策として、どのような施策が重要だと思うか(2つ以内)を全員に聞いた(全体のグラフは調査のポイント=3ページに掲載)。

「子育て環境の充実」が過半数の51%で性別、年代、職業、地域の全ての属性を通じトップとなった。とりわけ30代は62%と一際高い。

次いで「医療福祉の充実」34%、「県内産業の振興」31%が上位3項目に挙げられた。「移住者を受け入れる住環境の整備」は26%で4番目、「大手企業の誘致」は19%だった。

◆年代別では



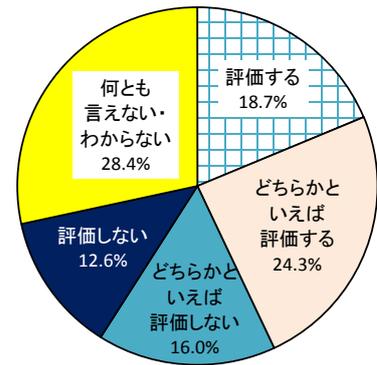
## ◆大北森林組合の補助金不正受給問題、県の対応評価が43%

大北森林組合（大町市）の国と県からの補助金不正受給問題について聞いた。県の検証委員会の報告によれば、阿部知事就任以前の2007年度から始まった不正受給だが、大北森林組合側は県の指示と指導を主張している。県は8月14日に一部の返還請求と刑事告発をした。

この県の対応について「評価する」19%、「どちらかといえば評価する」24%と評価が全体で43%、一方「どちらかといえば評価しない」16%、「評価しない」13%と否定的な人は29%で、評価が上回る。ただ「何とも言えない・わからない」が28%と多い。

職業別で役員・管理職・自由業だけは「評価しない」が47%と高く、他の層とは違う受け止めだ。

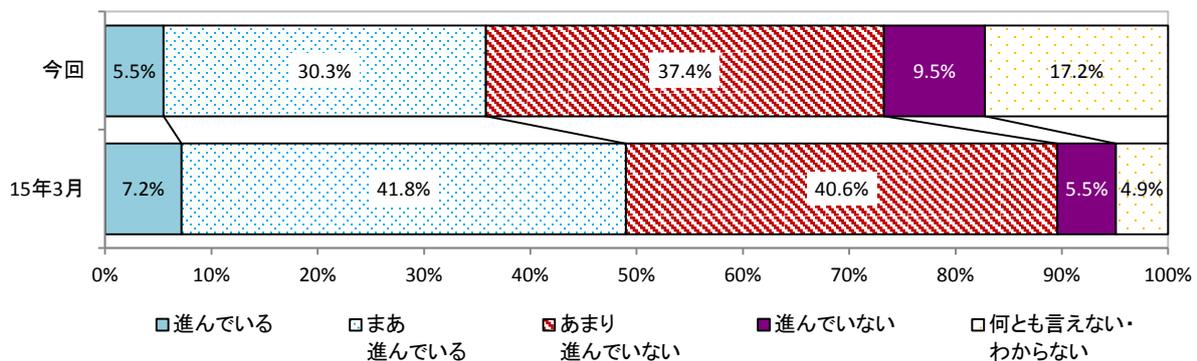
◆補助金不正受給問題



## ◆北陸新幹線金沢延伸、観光対策「進んでいない」47%

北陸新幹線が金沢まで開業して5カ月、県などが展開している観光対策について春の調査に引き続き聞いた。観光対策が「進んでいる」6%、「まあ進んでいる」30%を合わせた肯定的な評価は36%で、開業直後より13ポイント減少した。一方「あまり進んでいない」37%、「進んでいない」10%と否定的な評価はほぼ同じ47%。金沢延伸から5カ月経ったが、県民には観光対策の効果が見えてこないようだ。そのためか「何とも言えない・わからない」が17%に増えた。

年代別、職業別でもほとんどは、「進んでいない」と思っている人が多数だ。地域別では新幹線の沿線にあたる北信が「進んでいる」34%、「進んでいない」53%と春の調査から逆転、観光対策をより厳しく見ている。



## ◆新県立大学に期待感 53%

県が基本構想通りに総合マネジメント学部と管理栄養士課程がある健康発達学部の構成で、2018年4月開学を目指し準備を進めている新県立大学について、県民の期待感を聞いた。「期待する」28.7%、「どちらかといえば期待する」24.4%と期待感は半数超の53.1%で、「どちらかといえば期待しない」17.1%、「期待しない」の12.4%を合わせた29.5%とは23ポイント余の開きがあった。

昨年8月の調査（「阿部知事2期目に望む」＝以下同じ）で、基本構想の是非を聞いた際に、中信は「見直した方がよい」が過半数だったが、今回は「期待」が44.3%、「期待しない」が35.2%と期待感が上回った。ただ東北信は期待感が6割前後に上るのに対し、中南信は半数に達せず地域間の差は依然大きい。

◆新県立大学

